

今日のトピック 豪ドル相場は強含み（2020年9月） 豪政策金利は0.25%に据え置き、GDPは下振れ

ポイント1 豪州中銀は政策金利据え置き 資金供給の規模と期間を拡大

- 豪州準備銀行（RBA）は、9月1日に開催した金融政策決定会合で、政策金利のキャッシュレート及び3年国債の利回り目標を過去最低の0.25%に据え置きました。据え置きは市場の予想通りでした。
- 一方、市中銀行への資金供給の規模を拡大し、終了期日も従来の2021年3月末から同年6月末まで延長する緩和強化策を示しました。
- また、声明文には新たに「さらなる金融政策措置が景気回復をどのように支援できるか引き続き検討する」との文言が追加され、今後の追加緩和の余地も残りました。

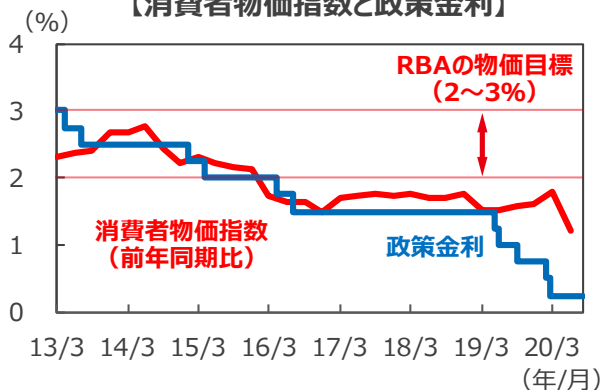
ポイント2 GDPは2期連続のマイナス 4-6月期は前期比▲7.0%

- また、オーストラリア連邦統計局（ABS）は9月2日、4-6月期の実質GDP成長率を前期比▲7.0%と公表しました。市場予想である同▲6.0%を下回り、過去最大の落ち込みとなりました。
- 2四半期連続のマイナス成長となったことにより、豪州は1991年以来の景気後退へ入った模様です。

今後の展開 豪ドルは今後も堅調に推移

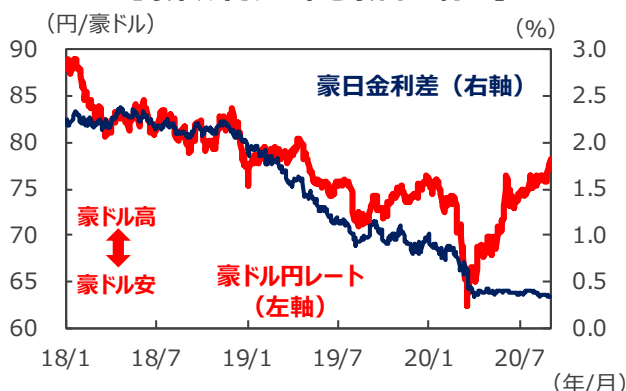
- 今年の3月以降豪ドルの対円相場は、景気回復への期待感や、米ドル安基調を背景とした投資家のリスク選好姿勢などを受けて大幅に上昇してきました。
- 今回、中銀による緩和的な決定や予想を下回るGDPなど豪ドルに対する弱材料が示されましたが、下落幅は限られました。足元で公表されている経済指標が概ね良好であることや、新型コロナウイルス感染拡大がピークアウトの兆しを見せていることなどが買い支えの材料となっています。今後、豪ドルの対円相場は、対中関係などのリスクに注視しつつも、引き続き堅調な展開となると予想します。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2013年1-3月期～2020年4-6月期。消費者物価指数は異常値をつけた項目を除外したトリム平均値。政策金利は2013年3月31日～2020年9月1日。
(出所) オーストラリア連邦統計局（ABS）のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2018年1月1日～2020年9月1日。
豪日金利差は3年国債利回りの差。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここもチェック! 2020年9月1日 最新 オーストラリアマーケット動向 (2020/9/1) 【ウィークリー】
2020年8月6日 アジア・マーケット・マンスリー (2020年8月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。